

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4320	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設								
2.施設名	宮崎市清武保健センター	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	清武町西新町1-1	15.設置根拠法令	地域保健法第18条第1項								
6.バス停	清武総合支所前(120m)	16.設置条例	宮崎市保健センター条例								
7.開設年月日	昭和58年3月1日	17.市の計画	時期は決定していないが廃止の方で検討中								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧清武町の保健センターとして設置。健康相談、保健指導及び健康診査その他の地域保健事業を推進していくための拠点施設である。平成25年度からは執務室を総合支所に移転。施設の内容としては、1階が診察室、相談室、検査室など、2階が調理実習室、指導室などとなっている。		19. 内部								
13.主な利用者	各種申請(届出)の申請(届出)者、各種健診の受診者など			20.避難所の指定(標高)		— 19.00 m					
14.利用者駐車可能台数	0台			21.投票所の指定		無					
22. 土地情報	土地面積 2,112.00 m ²			総延床面積		670.10 m ²					
	現況地目 宅地		取得価額計(開始時簿価計)		87205千円 (—)						
	土地所有形態 所有		階数・構造(主たる建物)		地上2階・RC・鉄筋コンクリート						
	借受面積 0.00 m ²		24.建物情報		建築年(主たる建物) 1983年						
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		法定点検(主たる建物) 対象					
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況 市有物件					
	利用者数	—	—	—	—	借受面積 0.00 m ²					
	開館日数	—	—	—	—	耐震対応(主たる建物) 対応済					
	利用率率	—	—	—	—	未利用スペース 0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		(区分・単位)		令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%	
	市の収入計① (②+③)	47	43.5	108	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	65,733	91.7	71,708	—	
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト	2,058	91.5	2,248	—	
	その他③	47	43.5	108	—	事業のコスト	2,123	67.4	3,151	—	
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	61,552	92.8	66,309	—	
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—	
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—	
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—	
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—	
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	47	43.5	108	—	支出合計⑩	65,733	91.7	71,708	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	54	18.4	293	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	47	43.5	108	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	65,686	91.7	71,600	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.1	100	—		
32.施設所管課	地域保健課				33.施設主管課	地域保健課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4320	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設				
2.施設名	宮崎市清武保健センター	4.利用圏域別分類	地域				
5.基礎評価							
評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満		D				
	品質評価の評価(偏差値)		40.7				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		45.6				
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がきわめて低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果 築年数(棟平均) 劣化度点数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	38.000 年	43.0	29.300 年	
			劣化度点数(棟平均)	9.000 件	14.3	1.500 件	
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	
			クレーム点数	4.000 点	45.0	4.500 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	47.6	0.700 件	
			評価値		40.7		
② 供給評価	② 供給評価 日あたり利用者数 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量	指標の結果 日あたり利用者数 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			日あたり利用者数		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量				
			評価値		#DIV/0!		
③ 財務評価	③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			市負担割合	99.930 %	44.2	90.129 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	92.000 %	52.2	93.057 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	98.024 千円	40.5	53.909 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額				
			利用量当たりの市負担額				
			評価値		45.6		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図 				
	品質評価(横)／供給・財務評価(縦)	供給評価(横)／財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		4320	利用用途別分類	医療保健福祉施設
施設名		宮崎市清武保健センター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	建築後、38年以上が経過しているため、建物の劣化が進み、品質評価が低い。財務評価としては、市負担(割合)が他施設より高く、建物1㎡あたりの市負担額も平均値を上回っているため、総合評価としてはD判定となっている。		
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】劣化度点数 【原因】建築後38年が経過していることから、経年劣化による施設の不調が頻発している。 ②【評価指標】クレーム点数 【原因】施設の不調に対しての改善要望がある。 ③【評価指標】バリアフリー未対応 【原因】2階があるが、エレベーターが設置されていない。		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】清武保健センターでは一般への貸出を行っていないため、施設の使用料収入を得られていない。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】施設の管理委託費や事業物件費等が増加したため、他の施設より減少率が低い。		
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣に類似の施設として「清武総合福祉センター」がある。		
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	清武総合支所、子育て支援センター、児童文化センター、清武体育館、清武文化会館、清武総合福祉センター、清武ふるさと農産物加工センター、清武幼稚園、清武中学校、清武児童クラブ、清武小学校、養護老人ホーム「清流園」、消防団清武分団第1部消防団車庫、消防団清武分団第15部消防団車庫、適応指導教室		
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	清武総合福祉センター		
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	宮崎県中央保健所		
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし		
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	清武総合支所前バス停(宮交)から徒歩3分ほどに位置している。		
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日現在 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(清武) 【現在の人口】28,683人 (令和2年10月1日現在 住基人口による算出)		
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【事業費(概算)】2.6億円程度 【建て替え時期】2060年代		
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		4320	利用用途別分類	医療保健福祉施設
施設名		宮崎市清武保健センター	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし		
15	アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 55ページ参照)		
16	総合評価(総括)	建物の評価は、築38年が経過しており劣化が見られることや、近隣に類似の施設があることから「廃止(処分)」とする。機能の評価は「移転」とし、事務所を清武総合庁舎内に移し、地域に必要なサービスを提供していく。		
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	処分(廃止)		
18	建物の評価の理由	「処分(廃止)」とする。築38年が経過しており劣化による不具合が見られることや、建物の利用がほぼないこと、周辺に類似の施設があるためである。		
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	なし		
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	移転		
21	機能の評価の理由	今後も継続して市民に必要なサービスを提供するため。		
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み ※20が「廃止」以外するとき	建物の廃止により、施設管理に係る委託料の削減を図る。		

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4480	3.利用用途別分類	保養観光施設
2.施設名	宮崎市道の駅フェニックス	4.利用圏域別分類	広域・市域
5.所在地(町名・番地)	内海381-1	15.設置根拠法令	
6.バス停	道の駅フェニックス(20m)	16.設置条例	宮崎市道の駅フェニックス条例
7.開設年月日	平成17年4月16日	17.市の計画	運営開始は定まっていないが改築計画を検討中
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(フェニックス運営株式会社)	18. 外観	 
9.指定管理期間	平成30年4月1日～令和04年3月31日		
10.用途地域	その他	19. 内部	 
11.財産区分	公共用		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	宮崎市の代表的な観光スポットである堀切峠の魅力を高めるとともに、青島・内海地域の特産品を販売するため、平成15年に食堂・物販用の建物(旧フェニックスドライブイン)を民間から買収し、通行車両の休憩所および特産品の販売所の機能を備えた「道の駅」として、再整備した。なお、平成24年度から指定管理者制度を適用している。		
13.主な利用者	市民、観光客	20.避難所の指定(標高)	— 48.30 m
14.利用者駐車可能台数	103台	21.投票所の指定	無
22. 土地情報	土地面積	48,924.05 m ²	
	現況地目	宅地	
	土地所有形態	所有	
	借受面積	0.00 m ²	
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	利用者数	237,790	48.2
	開館日数	305	83.3
24. 建物情報	総延床面積	1,047.53 m ²	
	取得価額計(開始時簿価計)	32662千円 (—)	
	階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート	
	建築年(主たる建物)	1965年	
25. 収入	法定点検(主たる建物)	対象	
	建物所有状況	市有物件	
	借受面積	0.00 m ²	
	耐震対応(主たる建物)	—	
26. 支出	未利用スペース	0 m ²	
	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の収入計①(②+③)	155	97.5
27. 使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	155	97.5
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	13,682	49.9
28. 工事請負費・修繕費	指定管理料⑥	0	—
	利用料金収入	13,682	49.9
	自主事業収入	0	—
	その他収入	0	—
29. 施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	収入合計⑦	13,837	50.2
	市負担額⑪(⑧-①+⑥)	3,345	34.1
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	13	58.7
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	13	58.7
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 8,264	127.4	△ 6,486
32.施設所管課	観光戦略課	33.施設主管課	観光戦略課

(2)施設評価シート

1.台帳番号		4480		3.利用用途別分類		保養観光施設		
2.施設名		宮崎市道の駅フェニックス		4.利用圏域別分類		広域・市域		
5.基礎評価								
評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満						B	
	品質評価の評価(偏差値)							44.3
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)							57.1
①品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度		偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	52.900	年	31.1	29.300	年
			劣化度点数(棟平均)	4.000	件	38.1	1.500	件
			耐震対応(棟平均)	5.000	点	53.5	4.800	点
			クレーム点数	5.000	点	55.0	4.500	点
			バリアフリー未対応(棟平均)	1.500	件	43.7	0.700	件
			評価値			44.3		
②供給評価		指標の結果	評価指標	令和2年度		偏差値	平均	
			日あたり利用者数	780.000	人	73.9	262.000	人
			建物1㎡当たりの利用量率	0.744	人	58.3	0.389	人
			建物1㎡当たりの利用量率		台			台
			土地1㎡当たりの利用量率		人			人
			市負担額千円当たりの利用量	71.088		56.4	37.899	
			評価値			62.9		
③財務評価	市負担額(ソフト)前年比の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度		偏差値	平均	
			市負担割合	13.150	%	57.3	28.729	%
			市負担額(ソフト)前年度比	160.000	%	29.4	96.300	%
			建物1㎡当たりの市負担額	3.193	千円	58.9	9.798	千円
			土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
			利用量当たりの市負担額	0.014	千円	59.6	0.282	千円
			評価値			51.3		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図					
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)			供給評価(横)／財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		4480	利用用途別分類	保養観光施設
施設名		宮崎市道の駅フェニックス	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価は、店舗が築55年を経過していることから平均未満の評価となった。供給・財務評価は、利用者数や市負担額が少ないことから、平均点以上の評価となった。		
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	店舗が築55年経過しているため、劣化等が著しい。		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】支出に対して収入の割合が少ないため		
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体に同じ利用用途の施設が点在している。また、民間にも同じ利用用途の施設がある。		
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	なし		
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市津倉市民農園管理棟、宮崎市石崎の杜鯨鯨館、宮崎市田野物産センター、宮崎市道の駅田野総合案内施設、高岡温泉やすらぎの郷、椿山キャンプ場、椿山森林公園、宮崎市自然休養村センター、宮崎白浜オートキャンプ場、宮崎市青島ビーチセンター、フローランテ宮崎、宮崎市フェニックス自然動物園、宮崎市道の駅高岡、交流プラザきよたけ 四季の夢、城の駅		
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	道の駅としてはないが、食事と物販販売をする施設として、港あおしまや宮崎市漁協がある。		
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	防災用備蓄品倉庫		
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道内海加江田線沿いの位置にあり、近くには、バス停留所が設置されているなど、交通事情は、比較的良い。		
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)		
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの事業費(概算)】3.2億円程度		
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	4480	利用用途別分類	保養観光施設
施設名	宮崎市道の駅フェニックス	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	意見なし	
16	総合評価(総括)	建物の評価は、改修・更新、機能の評価は継続とする。 築55年を超えて老朽化が著しい建物は改修・更新し、改修・更新後も道の駅としての機能は継続して運営していくものとする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	改修・更新	
18	建物の評価の理由	築55年を経過し、建物の老朽化が著しい。宮崎市を代表する観光施設である道の駅であることから、本施設を改修・更新とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	改修・更新に着手する際に、国・県の補助が活用可能か検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	道の駅としての機能は、継続していくものとする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	指定管理料が0円であるため、市負担額を削減することは難しい。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	8420	3.利用用途別分類	図書館・展示施設
2.施設名	大淀川学習館	4.利用圏域別分類	広域・市域
5.所在地(町名・番地)	下北方町5348-1	15.設置根拠法令	
6.バス停	大淀川学習館前(150m)	16.設置条例	大淀川学習館条例
7.開設年月日	平成07年3月28日	17.市の計画	施設のあり方を検討中
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(公益財団法人 宮崎文化振興協会)	18. 外観	 
9.指定管理期間	令和02年4月1日～令和05年3月31日		
10.用途地域	第二種住居地域	19. 内部	 
11.財産区分	公共用		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市制70周年記念事業の一つとして、また、大淀川浄化活動(市民運動)及び大淀川学習のシンボリックな施設として建設された。さらに、平成14年度の「水辺の楽校」、「里山の楽校」の整備により、「大淀川学習館」との3施設一体の総合的体験学習施設となっている。施設運営に支障をきたす不具合は生じていないが、近い将来、経年劣化による空調設備の不具合が想定される。		
13.主な利用者	小学生以下の子どもと保護者(宮崎市民以外も利用可能)	20.避難所の指定(標高)	指定避難所 11.00 m
14.利用者駐車可能台数	148台	21.投票所の指定	無
22. 土地情報	土地面積	14,390.90 m ²	
	現況地目	宅地	
	土地所有形態	所有	
	借受面積	0.00 m ²	
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	利用者数	52,759	29.7
	開館日数	240	84.5
24. 建物情報	総延床面積	2,880.04 m ²	
	取得価額計(開始時簿価計)	1315744千円 (一)	
	階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート	
	建築年(主たる建物)	2002年	
25. 収入	法定点検(主たる建物)	対象	
	建物所有状況	市有物件	
	借受面積	0.00 m ²	
	耐震対応(主たる建物)	対応済	
26. 支出	未利用スペース	0 m ²	
	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の収入計①(②+③)	193	86.5
27. 施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	使用料(減免後)②	0	-
	その他③	193	86.5
	指定管理者の収入計⑤	79,351	99.4
	指定管理料⑥	79,278	99.8
28. 工事請負費・修繕費	利用料金収入	0	-
	自主事業収入	53	-
	その他収入	20	6.1
	収入合計⑦	79,544	99.4
29. 施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	市の支出計⑧(指定管理料除く)	34,187	142.4
	施設のコスト	30,437	150.3
	事業のコスト	0	-
	人に係るコスト	3,750	100.0
30. 指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	指定管理者の支出計⑨	76,859	98.8
	施設のコスト	37,938	98.1
	自主事業以外のコスト	3,419	98.2
	自主事業のコスト	0	-
31. 市負担額⑪(⑧-①+⑥)	人に係るコスト	35,502	99.7
	支出合計⑩	111,046	109.1
	市負担割合(%)	102	100.5
	市負担割合(%)	102	100.5
32.施設所管課	生涯学習課	33.施設主管課	生涯学習課

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8420	3.利用用途別分類	図書館・展示施設			
2.施設名	大淀川学習館	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		53.9			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		48.9			
①品質評価	劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	21.000 年	56.7	29.300 年
			劣化度点数(棟平均)	1.700 件	49.0	1.500 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件
			評価値		53.9	
②供給評価	市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	220.000 人	50.6	207.000 人
			建物1㎡当たりの利用量率	0.076 人	51.8	0.067 人
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.466	47.9	0.585
			評価値		50.1	
③財務評価	市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			市負担割合	102.000 %	50.9	105.259 %
			市負担額(ソフト)前年度比	99.800 %	47.8	93.030 %
			建物1㎡当たりの市負担額	39.330 千円	38.1	24.726 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	2.147 千円	53.6	2.856 千円
			評価値		47.6	
品質評価の分布図						
	品質評価(横)／供給・財務評価(縦)					
供給評価(横)／財務評価(縦)						

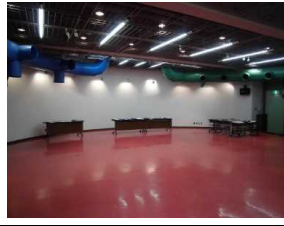
(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		8420	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名		大淀川学習館	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質の評価指標は高いが、供給・財務評価の指標は低い。平成7年に建築され、25年以上が経過し、施設の経年劣化が生じている。入館料未徴収の施設であることが財務評価の低い要因であると考えられる。		
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】劣化度点数(棟平均) 【原因】建築から25年以上が経過し、経年劣化が生じているため。		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】コロナウイルス感染拡大防止に伴う閉館期間があり、利用者数が減少したため。		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合・建物1㎡当たり市負担額 【原因】入場料無料施設であり、運営経費全てが指定管理料によって賄われているため。		
5	定性的な要素の分 析(総括)	自然学習・体験学習の場として、幼児から小中学生、家族が利用するとともに、憩いや癒しの場としても高齢者を含む広範な世代に利用されている施設である。		
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	消防局平和台無線局中継局舎、宮崎市消防団瓜生野分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団大宮分団第5部消防団車庫、小松浄化第2施設、五十鈴川排水ポンプ場、平和が丘団地、西町街区公園、南街区公園		
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎科学技術館、宮崎市立図書館、みやざきアートセンター、宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市安井息軒記念館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、宮崎市佐土原歴史資料館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)		
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	宮崎県立図書館、宮崎県立美術館、宮崎県立博物館		
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所		
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道宮崎・須木線の開い相生橋から1km程度南東に位置しており、施設前にバス停留所(大淀川学習館前)が設置されている。		
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)		
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】11.0億円程度		
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	令和3年度に指定管理者及び施設(大淀川学習館)の包括外部監査が実施された。一部、施設に対し契約についての指摘事項があったが、見直しを行った。		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		8420	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名		大淀川学習館	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし		
15	アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 52ページ参照)		
16	総合評価(総括)	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。		
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。		
18	建物の評価の理由	将来的に大規模改修を要するなどの現状がある中、庁舎移転の検討結果次第では関連施設と合わせて今後のあり方を検討し、状況を見極めながら、建物管理や施設整備等に取り組む必要があるため。		
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	各教育施設の老朽化が進む中、施設単独での修繕更新費用の削減は困難であることから、各施設の修繕更新計画の集約及び当総合評価に基づく所管施設の整理等において、総額削減を図る。		
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。		
21	機能の評価の理由	幅広い世代が施設学習に取り組み、教育施設としての役割を果たしている中、庁舎移転の検討結果次第では関連施設と合わせて今後のあり方を検討し、状況を見極めながら、施設機能の強化を図る必要があるため。		
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	業務委託内容を精査し、指定管理料の削減について検討する。		

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	8730	3.利用用途別分類	図書館・展示施設
2.施設名	宮崎科学技術館	4.利用圏域別分類	広域・市域
5.所在地(町名・番地)	宮崎駅東一丁目2-2	15.設置根拠法令	
6.バス停	宮崎駅東口(170m)	16.設置条例	宮崎科学技術館条例
7.開設年月日	昭和62年8月1日	17.市の計画	施設のあり方を検討中
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(公益財団法人 宮崎文化振興協会)	18. 外観	
9.指定管理期間	令和02年4月1日～令和05年3月31日		
10.用途地域	第二種住居地域	19. 内部	
11.財産区分	公共用		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市制60周年記念事業として、「科学と遊ぶ」をテーマに建設された。科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図ることをその目的としている。プラネタリウム(世界最大級ドーム)上映やアポロ11号月面着陸船実物大模型設置など、子どもからお年寄りまでが楽しみながら科学を学べる県内唯一の施設である。建築から30年以上が経過していることから、躯体及び空調設備の劣化が目立ってきている。		
13.主な利用者	小学生以下の子どもと保護者(宮崎市民以外も利用可能)	20.避難所の指定(標高)	— 6.90 m
14.利用者駐車可能台数	42台	21.投票所の指定	無
22. 土地情報	土地面積	5,400.00 m ²	
	現況地目	宅地	
	土地所有形態	所有	
	借受面積	0.00 m ²	
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	利用者数	49,827	34.7
	開館日数	220	78.3
	利用率率	227	44.4
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の収入計① (②+③)	184	0.6
	使用料(減免後)②	0	0.0
	その他③	184	102.2
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	162,030	96.3
	指定管理料⑥	137,560	83.7
	利用料金収入	11,688	—
	自主事業収入	246	—
26. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	33,595	778.4
	施設のコスト	29,845	5273.0
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	3,750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	157,857	97.1
	施設のコスト	85,583	98.8
	自主事業以外のコスト	16,467	108.8
	自主事業のコスト	0	—
27. 市負担額	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	33,595	778.4
	施設のコスト	29,845	5273.0
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	3,750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	157,857	97.1
	施設のコスト	85,583	98.8
	自主事業以外のコスト	16,467	108.8
	自主事業のコスト	0	—
28. 工事請負費・修繕費	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	33,595	778.4
	施設のコスト	29,845	5273.0
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	3,750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	157,857	97.1
	施設のコスト	85,583	98.8
	自主事業以外のコスト	16,467	108.8
	自主事業のコスト	0	—
29. 施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の収入計① (②+③)	184	0.6
	使用料(減免後)②	0	0.0
	その他③	184	102.2
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	162,030	96.3
	指定管理料⑥	137,560	83.7
	利用料金収入	11,688	—
	自主事業収入	246	—
30. 指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の収入計① (②+③)	184	0.6
	使用料(減免後)②	0	0.0
	その他③	184	102.2
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	162,030	96.3
	指定管理料⑥	137,560	83.7
	利用料金収入	11,688	—
	自主事業収入	246	—
31. 市負担額	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	33,595	778.4
	施設のコスト	29,845	5273.0
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	3,750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	157,857	97.1
	施設のコスト	85,583	98.8
	自主事業以外のコスト	16,467	108.8
	自主事業のコスト	0	—
32. 施設所管課	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の収入計① (②+③)	184	0.6
	使用料(減免後)②	0	0.0
	その他③	184	102.2
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	162,030	96.3
	指定管理料⑥	137,560	83.7
	利用料金収入	11,688	—
	自主事業収入	246	—
33. 施設主管課	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の収入計① (②+③)	184	0.6
	使用料(減免後)②	0	0.0
	その他③	184	102.2
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	162,030	96.3
	指定管理料⑥	137,560	83.7
	利用料金収入	11,688	—
	自主事業収入	246	—
34. 生涯学習課	(区分・単位)	令和2年度	
		平成31年度	
	市の収入計① (②+③)	184	0.6
	使用料(減免後)②	0	0.0
	その他③	184	102.2
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	162,030	96.3
	指定管理料⑥	137,560	83.7
	利用料金収入	11,688	—
	自主事業収入	246	—

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8730	3.利用用途別分類	図書館・展示施設		
2.施設名	宮崎科学技術館	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.基礎評価					
評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満		D		
	品質評価の評価(偏差値)		49.8		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		47.9		
① 品質評価	指標の結果 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	33.000 年	47.0	29.300 年
		劣化度点数(棟平均)	4.000 件	38.1	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件
		評価値		49.8	
② 供給評価	指標の結果 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	226.000 人	51.0	207.000 人
		建物1㎡当たりの利用量率	0.035 人	43.5	0.067 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.291	44.8	0.585
		評価値		46.4	
③ 財務評価	指標の結果 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		市負担割合	89.300 %	54.6	105.259 %
		市負担額(ソフト)前年度比	102.700 %	46.9	93.030 %
		建物1㎡当たりの市負担額	26.634 千円	48.4	24.726 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	3.431 千円	47.1	2.856 千円
		評価値		49.3	
品質評価の分布図					
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		8730	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名		宮崎科学技術館	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質・供給・財務評価すべて指標よりも低い。昭和62年に建築され、34年が経過し、施設の経年劣化が生じている。令和2年度から利用料金を導入し、入館者の増加を図るためにも、展示品等の更新が必要であるが、費用面などの課題もあり、容易に対応できない状況である。教育分野だけではなく、多種多様な分野との連携及び事業展開の更なる工夫が必要である。		
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】築年数(棟平均)・劣化度点数(棟平均) 【原因】建築から34年が経過し、経年劣化が生じているため。		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】床面積1㎡当たりの利用量率 【原因】展示施設のため、展示品・機器類の占有率が高いため。 【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】プラネタリウムを含むソフト部門の比率が高いため。		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)・前年度比 【原因】市が負担する施設のコストが増加したため。 【評価指標】建物1㎡当たり市負担額【原因】市が負担する施設のコストが増加したため。 【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】コロナウイルス感染拡大防止に伴う閉館期間があり、利用者数が減少したため。		
5	定性的な要素の分析(総括)	施設見学に訪れる小中学校を対象に、学習指導要領との整合性が取れた利活用がなされている。また、幼児・小中学生から家族・高齢者を含む広範な世代に利用されている施設であり、各種イベントの開催が来館者数の増加につながっている。		
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市宮崎東地区交流センター、宮崎市男女共同参画センター、介護認定審査室、下原ふれあい広場、下原街区公園、下原町自転車保管所、下原町第2自転車保管所、宮崎駅自転車駐輪場、宮崎駅北自転車駐輪場、宮崎市橋通東3丁目(Y.YPARK)、江平自転車歩行者道路公衆便所(下原町)、別府街区公園、老松団地、宮崎市教育情報研修センター、宮崎小学校、宮崎中学校のほか6施設		
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	大淀川学習館、宮崎市立図書館、みやざきアートセンター、宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市安井息軒記念館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、宮崎市佐土原歴史資料館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)		
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県立図書館、宮崎県立美術館、宮崎県立博物館		
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし		
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	宮崎駅東口から徒歩2分程に位置しており、施設前にバス停留所(宮崎駅東口)が設置されている。		
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)		
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】28.5億円程度		
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	令和3年度に指定管理者及び施設(宮崎科学技術館)の包括外部監査が実施された。施設の指摘事項はなかった。		
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし		
15	アンケート(施設利用者)	対象外		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		8730	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名		宮崎科学技術館	利用圏域別分類	広域・市域
16	総合評価(総括)	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。		
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。		
18	建物の評価の理由	将来的に大規模改修を要するなどの現状がある中、庁舎移転検討の推移も考慮すべき立地にあることから、状況を見極めながら今後のあり方を検討し、建物管理や施設整備等に取り組む必要があるため。		
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	各教育施設の建物等の老朽化が進む中、施設単独での修繕更新費用の削減は困難であることから、各施設の修繕更新計画の集約及び当総合評価に基づく所管施設の整理等において、総額削減を図る。		
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。		
21	機能の評価の理由	幅広い世代が施設学習に取り組み、教育施設としての役割を果たしている中、庁舎移転検討の推移も考慮すべき立地にあることから、状況を見極めながら今後のあり方を検討し、施設機能の強化を図る必要があるため。		
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	業務委託内容を精査し、指定管理料の削減などについて検討する。		

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4390	3.利用用途別分類	保養観光施設
2.施設名	宮崎市自然休養村センター	4.利用圏域別分類	広域・市域
5.所在地(町名・番地)	加江田6896	15.設置根拠法令	
6.バス停	休養村センター(40m)	16.設置条例	宮崎市自然休養村センター条例
7.開設年月日	昭和53年3月31日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(木花・青島活性化プロジェクトJV)	18. 外観	 
9.指定管理期間	平成30年4月1日～令和05年3月31日		
10.用途地域	その他		
11.財産区分	公共用		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市民の健康の増進及び地域の振興を図るため、休憩室や浴室などを備えて設置した。当施設は、年間約10万人の利用者がいる一方で、設備の老朽化が進んでいるという課題がある。		
13.主な利用者	市内在住の60歳以上の市民	20.避難所の指定(標高)	指定避難所 23.20 m
14.利用者駐車可能台数	95台	21.投票所の指定	無
22. 土地情報	土地面積	11,458.76 m ²	
	現況地目	宅地	
	土地所有形態	所有	
	借受面積	0.00 m ²	
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度	平成31年度
		人・食	前年比%
	利用者数	49,824	55.9
	開館日数	218	76.5
24. 建物情報	総延床面積	1,647.28 m ²	
	取得価額計(開始時簿価計)	245261千円 (一)	
	階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート	
	建築年(主たる建物)	1978年	
25. 収入	法定点検(主たる建物)	対象	
	建物所有状況	市有物件	
	借受面積	0.00 m ²	
	耐震対応(主たる建物)	対応済	
26. 支出	未利用スペース	0 m ²	
	(区分・単位)	令和2年度	平成31年度
		千円	前年度比%
	市の収入計①(②+③)	41	93.2
27. 使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	使用料(減免後)②	0	-
	その他③	41	93.2
	《参考》 使用料減免額④	5,557	55.6
	指定管理者の収入計⑤	64,743	74.1
28. 工事請負費・修繕費	指定管理料⑥	20,829	102.0
	利用料金収入	15,849	55.9
	自主事業収入	13,460	38.1
	その他収入	14,605	446.2
29. 施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	収入合計⑦	64,784	74.1
	30. 指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	2,056	△ 88.9
	31. 市負担額⑪(⑧-①+⑥)	41,067	125.6
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	49	154.4
32. 施設所管課	森林水産課	33. 施設主管課	
	森林水産課	森林水産課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4390	3.利用用途別分類	保養観光施設			
2.施設名	宮崎市自然休養村センター	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		51.5			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		40.2			
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	31.900 年	47.9	29.300 年
			劣化度点数(棟平均)	0.200 件	56.2	1.500 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数	4.000 点	45.0	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.100 件	54.7	0.700 件
			評価値		51.5	
② 供給評価	② 供給評価 利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	229.000 人	48.5	262.000 人
			建物1㎡当たりの利用量率	0.139 人	44.2	0.389 人
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	1.213	43.0	37.899
			評価値		45.2	
③ 財務評価	③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がきわめて低い。 利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			市負担割合	49.500 %	40.3	28.729 %
			市負担額(ソフト)前年度比	128.000 %	39.8	96.300 %
			建物1㎡当たりの市負担額	24.930 千円	29.7	9.798 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	0.824 千円	30.5	0.282 千円
			評価値		35.1	
品質評価の分布図		供給評価・財務評価の分布図				
				品質評価(横)／供給・財務評価(縦)		
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)		供給評価(横)／財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		4390	利用用途別分類	保養観光施設
施設名		宮崎市自然休養村センター	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価は平均をやや上回り、供給評価と財務評価については、ともに平均を下回っている。		
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均)【原因】他の施設に比べ、築年数が経過している。 ②【評価指標】クレーム点数【原因】浴室、脱衣所、休憩所のスペースが狭いとの苦情や脱衣所に結露が生じるなどといった建物の構造面や設備等の苦情が年に数回程度寄せられている。		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】日あたり利用者数【原因】年間約10万人の利用者を確保しているが、他の施設に比べると少ないため。但し、本施設は、当初5万5千人の利用者を想定して設置された。 ②【評価指標】建物1㎡あたりの利用量率【原因】他の施設に比べ利用者数が少ないため。 ③【評価指標】市負担額千円あたりの利用量【原因】他の施設に比べ利用者数が少ないため。		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】施設老朽化や収益が少ないため市負担割合が大きい。 ②【評価指標】建物1㎡あたりの市負担額【原因】指定管理料に加え、施設修繕における工事請負費や修繕費などの負担が大きいため。 ③【評価指標】利用量あたりの市負担額【原因】想定利用者数である5万5千人を上回っているが、他の施設に比べると少なく、市負担額も大きいため。		
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体に同じ利用用途の施設が点在している。また、民間にも同じ利用用途の施設がある。		
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	青島シーガル街区公園、宮崎市消防団木花分団第8部消防段車庫		
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市津倉市民農園管理棟、宮崎市石崎の杜鯨鯨館、宮崎市田野町物産センターみちくさ、宮崎市道の駅田野、高岡温泉やすらぎの郷、椿山森林公園、宮崎白浜オートキャンプ場、青島海水浴場管理棟、宮崎市道の駅フェニックス、フローランテ宮崎、宮崎市フェニックス自然動物園、道の駅高岡ふるさと物産館センター(ビタミン館)、交流プラザきよたけ四季の夢、城の駅		
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	ANAホリデイ・インリゾート宮崎、青島サンクマール、ルートイングランティア青島太陽閣、青島グランドホテルほか		
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所		
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道220号線南バイパスから県道377号線(青島方面)を100m程度直進後に右折し、道なりに南進した位置にあり、施設の敷地内にバス停留所が設置されており、交通事情は良好である。		
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】 398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】 353,770人(令和27年10月1日現在 国立社会保障・人口問題研究所推計値)		
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050～2080年代 【建て替えの事業費(概算)】6.6億円程度		
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	包括外部監査対象外。利用者の大部分は地域住民であり、固定の利用者が多く、特に高齢者にとつての交流の場となっている。また、他の類似施設と比較し、利用料金が低い。		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		4390	利用用途別分類	保養観光施設
施設名		宮崎市自然休養村センター	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし		
15	アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 56ページ参照)		
16	総合評価(総括)	建物の評価及び機能の評価はともに「継続」とし、今後、利用料の見直し等を検討する。		
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続		
18	建物の評価の理由	基礎評価の築年数は平均点未満で、築平均30年を超え、建物全体の老朽化が著しいが、浴場及び増築部においては、築年数が平均値を上回っていることから、継続とする。		
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	将来の修繕更新費用を削減するため、今後、施設のあり方を検討する。		
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、民営化の可能性を探る。		
21	機能の評価の理由	年10万人の利用者だが、高齢者の利用が多く、安価な利用料や減免等の影響により、現在でも施設の収支状況が赤字となっている。今後も収入減少が予想され、民営化の可能性についても検討する必要があると考えているため。		
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み ※20が「廃止」以外のとき	将来の市負担額を削減するために、今後、施設のあり方を検討する。		

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号		4520		3.利用用途別分類		集会施設		
2.施設名		宮崎市清武文化会館		4.利用圏域別分類		地域		
5.所在地(町名・番地)		清武町西新町6-5		15.設置根拠法令				
6.バス停		清武総合支所前(120m)		16.設置条例		宮崎市清武文化会館条例		
7.開設年月日		平成10年9月23日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)		指定管理者(トールツリーグループ)		18. 外 観  		19. 内 部  		
9.指定管理期間		令和02年4月1日～令和06年3月31日						
10.用途地域		近隣商業地域						
11.財産区分		公共用						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		市民が多様な文化芸術を鑑賞し、及び文化活動、創造活動、表現活動等を行う機会を提供するために設置された。						
13.主な利用者		市民及び市内外の個人・団体等		20.避難所の指定(標高)		— 18.40 m		
14.利用者駐車可能台数		0台		21.投票所の指定		無		
22.土地情報	土地面積	14,323.34 m ²				総延床面積		6,270.16 m ²
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)		3502858千円 (—)
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)		地上2階・SRC・鉄筋鉄骨コンクリート
	借受面積	0.00 m ²				24.建物情報		
23.利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		建築年(主たる建物)		1998年
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	法定点検(主たる建物)		対象
	利用者数	37,426	54.8	68,335	—	建物所有状況		市有物件
	開館日数	307	99.7	308	—	借受面積		0.00 m ²
25.収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		耐震対応(主たる建物)		対応済
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	未利用スペース		0 m ²
	市の収入計① (②+③)	89	69.5	128	—	26.支出		
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	(区分・単位)		
その他③	89	69.5	128	—	令和2年度			
《参考》 使用料減免額④	4,237	53.9	7,854	—	千円			
指定管理者の収入計⑤	79,250	87.1	91,021	—	前年度比%			
指定管理料⑥	67,502	97.9	68,942	—	千円			
利用料金収入	8,073	58.9	13,707	—	前年度比%			
自主事業収入	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		33,726 165.3 20,407 —	
その他収入	3,675	43.9	8,372	—	施設のコスト		31,476 173.4 18,157 —	
収入合計⑦	79,339	87.0	91,149	—	事業のコスト		0 — 0 —	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	100	100.0	100	—	人に係るコスト		2,250 100.0 2,250 —	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	11,837	53.3	22,207	—	指定管理者の支出計⑨		73,775 82.1 89,806 —	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	5,475	450.6	1,215	—	施設のコスト		49,613 107.7 46,050 —	
					自主事業以外のコスト		1,838 11.0 16,656 —	
					自主事業のコスト		0 — 0 —	
					人に係るコスト		22,324 82.4 27,100 —	
					支出合計⑩		107,501 97.5 110,213 —	
					28.工事請負費・修繕費		30,778 177.6 17,327 —	
					31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		101,139 113.4 89,221 —	
					市負担割合(%) (⑪÷⑩)		94 116.2 81 —	
32.施設所管課		文化・市民活動課		33.施設主管課		文化・市民活動課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4520	3.利用用途別分類	集会施設			
2.施設名	宮崎市清武文化会館	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		52.4			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		52.0			
① 品質評価	劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	23.000 年	55.1	29.300 年
			劣化度点数(棟平均)	3.000 件	42.9	1.500 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件
			評価値		52.4	
② 供給評価	稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	122.000 人	63.9	55.000 人
			稼働率	20.500 %	45.9	26.500 %
			建物1㎡当たりの利用量率	0.019 人	39.4	0.051 人
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.370	44.2	0.796
評価値		48.4				
③ 財務評価		指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			市負担割合	94.080 %	67.7	98.357 %
			市負担額(ソフト)前年度比	97.900 %	52.2	101.965 %
			建物1㎡当たりの市負担額	16.130 千円	51.2	17.185 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	2.702 千円	51.3	4.765 千円
			評価値		55.6	
品質評価の分布図						
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)						
供給評価(横)／財務評価(縦)						

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	4520	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市清武文化会館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質は平均以上となっているが、新型コロナの影響により、来場者数が大幅に落ち込んだため、稼働率や利用者数により評価される供給・財務については低い評価となった。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】劣化度点数の評価が低い。【原因】経年劣化により建物の補修が必要となっている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】稼働率の評価が低い。【原因】新型コロナの影響により、利用者数が落ち込んだため。 【評価指標】床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。【原因】新新型コロナの影響による利用者数の落ち込み。またホール機能を持つ特殊な施設であり、ロビーなど恒常的に人がいない部分が必要であるため。 【評価指標】市負担額千円当たりの利用率の評価が低い。【原因】新型コロナの影響による利用者数が落ち込み。また多機能な施設であるため維持管理にかかる費用が大きい。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額前年度比の評価がきわめて低い。【原因】新型コロナの影響で、利用者数が落ち込んだため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市域内に同じ用途の施設が存在しているが、800席を超える劇場型多目的ホールを有し、市民の文化芸術活動の拠点となっている。また、会議室や図書室を併設していることから、多様な目的で使用されている。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市清武地域子育て支援センター、宮崎市きよたけ児童文化センター、宮崎市清武保健センター、宮崎市清武体育館、宮崎市清武総合福祉センター、宮崎市清武総合支所ほか。	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市加納地区交流センター、宮崎市大久保学習センターほか。	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	宮崎県立芸術劇場、宮崎県立図書館、宮日会館	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	JR清武駅から徒歩5分、清武総合支所前バス停が施設そばにあり、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(清武) 【現在の人口】28,683人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】27.8億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	今回の総合評価に勘案すべき包括外部監査の結果はない。 建築から20年以上が経過し、屋上防水シートや舞台機構等の改修・更新が必要となっている。なお、令和3年度に開催延期となった国民文化祭の宮崎県開催が決定しており、本市の各文化施設はその会場として活用されている。	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	4520	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市清武文化会館	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物評価、機能の評価ともに、「継続」とする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	基礎評価の品質評価は平均点以上である。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し施設の状態把握に努め、適切な時期に適切な工事を行うことにより、将来の修繕更新費用の削減につなげる。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	コロナの影響により利用制限を行ったことにより、利用者数・利用率が落ち込み、これに伴い利用料金収入も減少したため市から補填したことで、供給・財務ともに評価が低くなったため、コロナの影響のない状態での判断が必要となる。コロナの影響のない平成30年度の基礎評価においては、すべての項目において平均点以上であり、今後も市民が多様な文化芸術を鑑賞し文化活動等を行う機会の提供をするため、また施設を安心安全に管理運営していくために、現在の指定管理料は維持すべきである。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	施設利用料及び減免基準の検討を進める。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4270	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市清武地域子育て支援センター	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	清武町西新町1-1	15.設置根拠法令	児童福祉法、社会福祉法								
6.バス停	清武総合支所前(100m)	16.設置条例	宮崎市清武地域子育て支援センター条例								
7.開設年月日	平成15年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(社会福祉法人 清武社会福祉会)	18. 外観									
9.指定管理期間	平成29年4月1日～令和04年3月31日			19. 内部							
10.用途地域	近隣商業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	未就学児とその保護者が気軽に利用でき、子育て親子同士の交流の促進や職員による育児相談等を行っている。1日平均38人が利用している。令和元年度から同施設で利用者支援事業を実施し、子育て支援に関する情報提供や関係機関との連絡調整を行っている。										
13.主な利用者	未就学児とその保護者	20.避難所の指定(標高)	— 18.90 m								
14.利用者駐車可能台数	132台	21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	628.00 m ²		24. 建物情報	総延床面積	176.85 m ²					
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	52605千円 (—)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	2003年					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	9,266	76.0	12,195	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	242	88.6	273	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
	利用率率	38	85.7	45	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	7,184	100.1	7,174	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	881	112.5	783	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	92	—	0	—
	その他③	7,184	100.1	7,174	—		事業のコスト	39	118.2	33	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	12,763	105.9	12,051	—		指定管理者の支出計⑨	12,763	105.9	12,051	—
	指定管理料⑥	8,526	100.2	8,513	—		施設のコスト	2,986	64.9	4,600	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	745	122.7	607	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	4,237	119.8	3,538	—	人に係るコスト	9,032	132.0	6,844	—		
収入合計⑦	19,947	103.8	19,225	—	支出合計⑩	13,644	106.3	12,834	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	11,421	106.6	10,712	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,223	104.8	2,122	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	16	98.5	17	—		
32.施設所管課	子育て支援課				33.施設主管課	子育て支援課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号		4270		3.利用用途別分類		学校教育児童福祉施設		
2.施設名		宮崎市清武地域子育て支援センター		4.利用圏域別分類		地域		
5.基礎評価								
評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満						A	
	品質評価の評価(偏差値)							53.5
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)							66.8
①品質評価	バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度		偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	18.000	年	59.1	29.300	年
			劣化度点数(棟平均)	1.000	件	52.4	1.500	件
			耐震対応(棟平均)	5.000	点	53.5	4.800	点
			クレーム点数	5.000	点	55.0	4.500	点
			バリアフリー未対応(棟平均)	1.000	件	47.6	0.700	件
			評価値			53.5		
②供給評価		指標の結果	評価指標	令和2年度		偏差値	平均	
			日あたり利用者数	38.000	人	54.4	30.000	人
			建物1㎡当たりの利用量率		人			人
			建物1㎡当たりの利用量率		台			台
			土地1㎡当たりの利用量率		人			人
			市負担額千円当たりの利用量	4.168		90.3	0.580	
			評価値			72.4		
③財務評価	市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度		偏差値	平均	
			市負担割合	16.290	%	81.6	77.618	%
			市負担額(ソフト)前年度比	104.800	%	47.0	83.674	%
			建物1㎡当たりの市負担額	12.570	千円	56.9	45.087	千円
			土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
			利用量当たりの市負担額	0.240	千円	59.1	2.217	千円
			評価値			61.2		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図					

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		4270	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名		宮崎市清武地域子育て支援センター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 A】平成15年に建築され築後18年が経過しているが、他施設と比較して新しく、耐震や劣化度の評価が高い。②利用者数は多く、供給の評価が高い。③運営費の一部を市が負担しているため、財務の評価が低い。		
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】バリアフリー未対応 【原因】トイレ出入口に段差があり、車椅子用トイレが設置されていない。		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、衛生用品等の購入の助成を行ったことによる負担増及び施設休館に伴う運営費の減少要因がなかったため。		
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ利用用途の施設(地域子育て支援センター)が市内に点在している。		
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市清武総合支所、宮崎市きよたけ児童文化センター、産前産後サポート室(南)、宮崎市清武総合福祉センター、宮崎市清武文化会館、交流プラザきよたけ四季の夢、他		
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	かのう児童センター、加納小学校、加納中学校、大久保小学校、清武小学校、清武中学校、宮崎市教育支援教室「希望教室」、宮崎市きよたけ児童文化センター、きよたけ児童クラブ、宮崎市清武学校給食センター		
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし		
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし		
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	近隣には、清武町の公共施設が集中しており、市道西新町今泉線に面していて、最寄りのバス停は「清武総合支所前」である。交通事情は良好である。		
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市人口 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(清武) 【現在の人口】28,683人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)		
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建替えの時期】2082年代 【建替えの事業費(概算)】0.7億円程度		
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	包括外部監査では、特に指摘はない。 【県内の状況】 各市町村において、それぞれ地域子育て支援センターを設置し、子育て家庭等に対する育児相談等を行い、地域の子育て支援を行っている。県内に72施設あり、宮崎市が35施設。		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	4270	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市清武地域子育て支援センター	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価、機能の評価とも「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。「質の向上」として、市と指定管理者が連携し、施設管理費の削減や事業内容の充実に努める。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	今後も計画的な保全に努め、地域の子育て支援の拠点施設として、当面は本施設を継続する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	子育て親子同士の交流の促進や職員による育児相談などを行っており、清武地域の子育て支援の拠点施設である。また、令和元年度から同施設で利用者支援事業を実施しており、妊娠・出産・育児に不安や悩みを抱える妊産婦に対して、産前産後サポート室等と連携を図り、家庭や地域での孤立感の解消を図ると共に、自信をもって育児ができるよう支援を行っている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外るとき	運営費や指定管理料等の見直しを行い、市負担額の削減に努める。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4330	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設								
2.施設名	高岡福祉保健センター「穆園館」	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	高岡町内山2877	15.設置根拠法令	地域保健法第18条第1項								
6.バス停	高岡(170m)	16.設置条例	宮崎市保健センター条例								
7.開設年月日	平成15年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧高岡町の福祉保健センターとして設置。健康相談、保健指導及び健康診査その他の地域保健事業以外に住民の交流及び福祉の向上に関する事業を推進していくための拠点施設である。施設の内容としては、1階が事務室、診察室、研修室、相談室、交流室、プレイルームなど、2階が会議室、研修室、調理実習室などとなっている。		19. 内部								
13.主な利用者	各種申請(届出)の申請(届出)者、各種健診の受診者民生委員やボランティア福祉関係者										
14.利用者駐車可能台数	66台										
20.避難所の指定(標高)	指定避難所 15.70 m										
21.投票所の指定	無										
22. 土地情報	土地面積	5,983.88 m ²		24. 建物情報	総延床面積	2,499.47 m ²					
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	750010千円 (一)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート					
	借受面積	2,840.15 m ²			建築年(主たる建物)	2003年					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		法定点検(主たる建物)	対象				
	人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件					
	利用者数	—	—	—	借受面積	0.00 m ²					
	開館日数	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	対応済					
	利用率率	—	—	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	4,205	104.2	4,036	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	65,907	91.1	72,377	—
	使用料(減免後)②	82	221.6	37	—		施設のコスト	14,395	78.8	18,259	—
	その他③	4,123	103.1	3,999	—		事業のコスト	2,957	52.3	5,652	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	48,555	100.2	48,466	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	4,205	104.2	4,036	—	支出合計⑩	65,907	91.1	72,377	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	28.工事請負費・修繕費	2,404	41.1	5,856	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	4,205	104.2	4,036	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	61,702	90.3	68,341	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	94	99.1	94	—		
32.施設所管課	地域保健課				33.施設主管課	地域保健課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4330	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設				
2.施設名	高岡福祉保健センター「穆園館」	4.利用圏域別分類	地域				
5.基礎評価							
評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満		B				
	品質評価の評価(偏差値)		38.8				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		50.1				
① 品質評価	劣化度点数(棟平均)の評価がきわめて低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	18.000 年	59.1	29.300 年	
			劣化度点数(棟平均)	16.000 件	△ 19.0	1.500 件	
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	
			クレーム点数	4.000 点	45.0	4.500 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件	
			評価値		38.8		
② 供給評価		指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			日あたり利用者数		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量				
			評価値		#DIV/0!		
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			市負担割合	93.620 %	47.9	90.129 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	94.900 %	46.2	93.057 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	24.686 千円	56.3	53.909 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額				
			利用量当たりの市負担額				
			評価値		50.1		
品質評価の分布図							
	品質評価(横)／供給・財務評価(縦)	供給評価(横)／財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		4330	利用用途別分類	医療保健福祉施設
施設名		高岡福祉保健センター「穆園館」	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	建築後18年以上が経過しているため、建物の劣化が進み、品質評価が低い。財務評価としては、市負担(割合)が他施設よりも高く、市負担額(ソフト)前年比も平均値以下ながらも、総合評価としてはB判定となった。		
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】劣化度点数 【原因】建築後18年以上経過していることから経年劣化による施設の不調が頻発している。 ②【評価指標】クレーム点数 【原因】施設利用者等から施設機能に対しての要望がある。		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】高岡福祉保健センターでは貸館業務を行っているが、そのほとんどが減免対象のため使用料を得られていない。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】施設の管理委託費等が増加したため。		
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣には同じ利用用途の施設が無く、地域に身近な保健サービスを提供する拠点としての役割を担っている。		
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	高岡地区農村環境改善センター、高岡小学校、高岡中学校、高岡学校給食センター、消防団高岡分団第8部消防団車庫、高岡トレーニングセンター、練士館、高岡総合支所、龍福寺墓園、		
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市内山農村研修センター(旧高岡配食サービスセンター)、高岡老人福祉館「百寿荘」		
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有 の場合は施設名	宮崎県中央保健所		
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所		
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	高岡本町バス停(宮崎交通)から徒歩5分ほどに位置している。		
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日現在 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(高岡) 【現在の人口】11,171人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)		
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替え時期】2080年代 【事業費(概算)】9.5億円程度		
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		4330	利用用途別分類	医療保健福祉施設
施設名		高岡福祉保健センター「穆園館」	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし		
15	アンケート(施設利用者)	対象外		
16	総合評価(総括)	建物・機能の評価は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとしては、計画的・根本的な修繕を行い、将来的な修繕費用を削減する。		
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続		
18	建物の評価の理由	「継続」となっているが、今後も引き続き周辺施設の統合について、関係課と協議を行っていく。当面は施設の全体的な整備について、計画的に更新を行う。		
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	修繕が必要な箇所が多いため、個別施設計画に沿った根本的・計画的な修繕を行い、将来の修繕費用削減を図る。		
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続		
21	機能の評価の理由	近隣に同様のサービスを提供する場所がないことから、地域住民に必要なサービスを提供するためにも「継続」とする。魅力ある施設として維持するために、市民の憩いの間や交流室、空きスペースのより一層の有効活用が必要である。		
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み ※20が「廃止」以外るとき	設備機器の更新や、電力入れを行うことにより、光熱水費に係る歳出を削減する。		

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	80040	3.利用用途別分類	スポーツ施設
2.施設名	宮崎市青島パークゴルフ場	4.利用圏域別分類	広域・市域
5.所在地(町名・番地)	加江田7470-3	15.設置根拠法令	
6.バス停	こどものくに正面ゲート(70m)	16.設置条例	宮崎市青島パークゴルフ場条例
7.開設年月日	平成23年12月21日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎交通株式会社)	18. 外観	 
9.指定管理期間	令和02年4月1日～令和05年3月31日		
10.用途地域	その他		
11.財産区分	公共用		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市民の健康増進、スポーツの振興、世代間の交流、青島の再生のために設置された、宮崎市内唯一のパークゴルフ場である。全36ホール、4コースを備える日本パークゴルフ協会公認コースであるものの、こどものくにに隣接することにより、競技者に加え、観光客や家族連れの利用も多い。		
13.主な利用者	市民、市外・県外来訪者、団体	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m
14.利用者駐車可能台数	250台	21.投票所の指定	無
22. 土地情報	土地面積	28,077.09 m ²	
	現況地目	宅地	
	土地所有形態	借受	
	借受面積	28,077.09 m ²	
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度	
		人・食	前年比%
	利用者数	21,328	74.4
	開館日数	365	100.0
	利用率率	58	74.3
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
26. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
27. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
28. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
29. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
30. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
31. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
32. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
33. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
34. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
35. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
36. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
37. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
38. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
39. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
40. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
41. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
42. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
43. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
44. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
45. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
46. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
47. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
48. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0
	指定管理者の支出計⑨	24,019	96.5
	施設のコスト	14,436	102.4
	自主事業以外のコスト	1,256	64.1
	自主事業のコスト	0	—
49. 収入	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	64	100.0
	使用料(減免後)②	0	—
	その他③	64	100.0
	《参考》 使用料減免額④	0	—
	指定管理者の収入計⑤	18,968	86.1
	指定管理料⑥	8,162	105.0
	利用料金収入	10,806	75.7
	自主事業収入	0	—
50. 支出	(区分・単位)	令和2年度	
		千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,248	358.3
	施設のコスト	5,498	553.1
	事業のコスト	0	—
	人に係るコスト	750	100.0

(2)施設評価シート

1.台帳番号	80040	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市青島パークゴルフ場	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質: 平均点以上、供給・財務: 平均点以上 B: 品質: 平均点未満、供給・財務: 平均点以上 C: 品質: 平均点以上、供給・財務: 平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務: 平均点未満		A		
	品質評価の評価(偏差値)		53.1		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		52.6		
① 品質評価	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	28.000 年	51.0	29.300 年
		劣化度点数(棟平均)	1.000 件	52.4	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	点		点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件
		評価値		53.1	
② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	58.000 人	38.8	284.000 人
		稼働率	%		%
		建物1㎡当たりの利用量率	0.531 人	64.1	0.192 人
		建物1㎡当たりの利用量率	台		台
		土地1㎡当たりの利用量率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量	1.487	63.4	1.084
評価値		55.4			
③ 財務評価	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		市負担割合	47.400 %	64.1	71.987 %
		市負担額(ソフト)前年度比	153.000 %	36.5	114.667 %
		建物1㎡当たりの市負担額	130.418 千円	35.9	48.977 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	0.673 千円	62.4	0.993 千円
		評価値		49.7	
品質評価の分布図					
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		80040	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名		宮崎市青島パークゴルフ場	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	本市所有施設でも有数のパークゴルフ場であり、日本国内だけでなく、海外からも愛好者を受け入れているが、個人競技であり団体競技と比べると利用量率が低い。		
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	なし		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用量率【原因】個人競技であるため、利用量率が低い。		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比、建物1㎡当たりの利用率【原因】個人競技であるため、利用量率が低い。		
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣に市、県、民間の類似施設は存在していない。		
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市自然休養村センター、青島シーガル街区公園、青島歴史文化広場、松添街区公園、宮崎市南消防署、青島出張所		
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	生目の杜運動公園、総合体育館、障がい者体育センター、清武総合体育館		
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	県総合運動公園		
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし		
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道220号線沿いに位置し、ANAホリディインリゾート前バス停へ徒歩1分、JR子供の国駅下車徒歩1分と交通事業は良好である。		
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)		
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【立て替えの時期】2060年代 【立て替えの事業費(概算)】0.4億円程度		
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	令和2年10月より民有地の有償賃貸借契約を開始している。 利用料金収入額が管理運営業務費を上回った場合、その差額が一定の割合で市に納付される。		

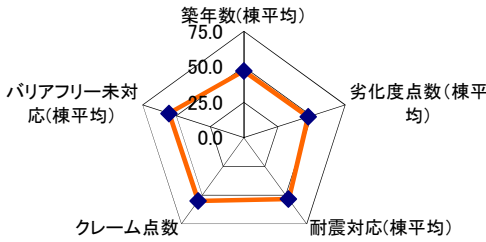
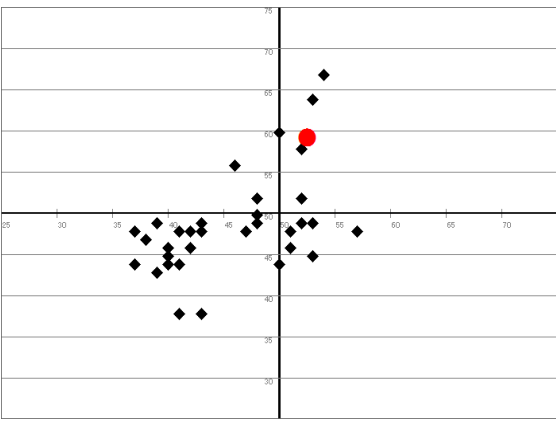
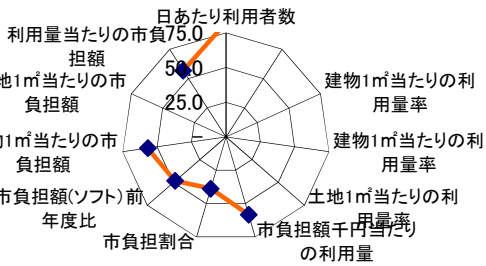
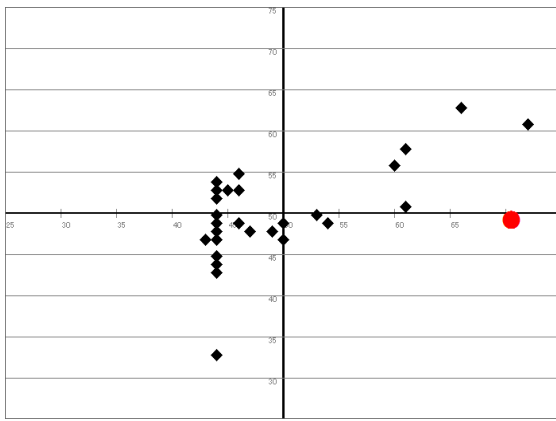
(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		80040	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名		宮崎市青島パークゴルフ場	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし		
15	アンケート(施設利用者)	対象外		
16	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとしては、日常点検を行いながら長寿命化を図るとともに、施設の修繕費用を削減するために、適宜修繕を行っていく。 市民サービスの質の向上と経費の削減の観点から指定管理者の公募について検討する。		
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続		
18	建物の評価の理由	建物はクラブハウス(受付)となっており、パークゴルフ場を継続するうえで必要であり、令和2年の10月より有償賃貸借契約を結んでいる。		
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。		
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続		
21	機能の評価の理由	パークゴルフ愛好者を中心に多くの市民に親しまれているスポーツ施設であるとともに、観光地青島地区の誘客施設の一つであり、付近にも民間を含め類似施設はない。		
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み ※20が「廃止」以外るとき	指定管理者が持つ管理運営のノウハウを活用し、利用者サービスの向上と管理運営コストの削減を図る。		

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	8840	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市きよたけ児童文化センター	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	清武町西新町1-6	15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条								
6.バス停	清武総合支所前(150m)	16.設置条例	宮崎市きよたけ児童文化センター条例及び同条例施行規則								
7.開設年月日	昭和63年5月5日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(特定非営利活動法人 みやざき子ども文化センター)	18. 外観									
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日										
10.用途地域	商業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童の教養及び情操を豊かにするとともに、文化活動に対する児童の関心及び理解を深めるため。(宮崎市きよたけ児童文化センター条例第1条)	19. 内部									
13.主な利用者	市民										
14.利用者駐車可能台数	131台										
20.避難所の指定(標高)	—						17.50 m				
21.投票所の指定	無										
22. 土地情報	土地面積	780.90 m ²		24. 建物情報	総延床面積	1,014.00 m ²					
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	199478千円 (—)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1988年					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	17,737	48.1	36,894	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	189	65.4	289	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
	利用率率	94	73.5	128	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	3,352	80.4	4,171	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	2,210	94.3	2,344	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	392	119.9	327	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	50.0	1,500	—
	指定管理者の収入計⑤	10,087	101.1	9,977	—		指定管理者の支出計⑨	10,087	101.1	9,977	—
	指定管理料⑥	10,010	100.9	9,919	—		施設のコスト	956	103.8	921	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	1,749	90.0	1,943	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	77	132.8	58	—	人に係るコスト	7,382	103.8	7,113	—		
収入合計⑦	10,087	101.1	9,977	—	支出合計⑩	13,439	95.0	14,148	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	557	76.6	727	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	77	132.8	58	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	13,362	94.8	14,090	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	99	99.8	100	—		
32.施設所管課	生涯学習課				33.施設主管課	生涯学習課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号		8840		3.利用用途別分類		学校教育児童福祉施設		
2.施設名		宮崎市きよたけ児童文化センター		4.利用圏域別分類		地域		
5.基礎評価								
評価指標	A:品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B:品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C:品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D:平均点未満、供給・財務:平均点未満						A	
	品質評価の評価(偏差値)						51.7	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)						60.3	
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度		偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	33.000	年	47.0	29.300	年
			劣化度数(棟平均)	2.000	件	47.6	1.500	件
			耐震対応(棟平均)	5.000	点	53.5	4.800	点
			クレーム点数	5.000	点	55.0	4.500	点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000	件	55.5	0.700	件
			評価値			51.7		
② 供給評価		指標の結果	評価指標	令和2年度		偏差値	平均	
			日あたり利用者数	94.000	人	82.4	30.000	人
			建物1㎡当たりの利用量率		人			人
			建物1㎡当たりの利用量率		台			台
			土地1㎡当たりの利用量率		人			人
			市負担額千円当たりの利用量	1.327		58.4	0.580	
			評価値			70.4		
③ 財務評価	市負担割合の評価がかなり低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度		偏差値	平均	
			市負担割合	99.430	%	38.8	77.618	%
			市負担額(ソフト)前年度比	95.800	%	48.3	83.674	%
			建物1㎡当たりの市負担額	13.178	千円	56.8	45.087	千円
			土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
			利用量当たりの市負担額	0.753	千円	56.8	2.217	千円
			評価値			50.2		
品質評価の分布図			供給・財務評価の分布図					
								
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)								

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		8840	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名		宮崎市きよたけ児童文化センター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価については築年数(棟平均)、劣化度点数(棟平均)の評価は低く、平均点未満となっている。供給評価については平均点以上となっている。財務評価については市負担割合、市負担額(ソフト)前年比の評価は低く、平均点未満となっている。		
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】昭和63年に開設し、建築から33年が経過しているため。 【評価指標】劣化度点数(棟平均) 【原因】建物内部に数か所劣化が見られるため。		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】利用者負担がないため、市の負担が大きい。 【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】ブラインドの修繕工事やクロス修繕工事があったため、市の負担額が大きい。		
5	定性的な要素の分 析(総括)	交通事情は良好だが、民間には類似した利用用途の施設はない。		
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市きよたけ歴史館、安井息軒旧宅、正手4号街区公園、正手1号街区公園、新川団地、第1分団第11部消防機庫、清武駅自動車駐車場、正手2号街区公園、清武町消防団第本部消防詰所、西新町公民館ほか29施設。		
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市かのう児童館、宮崎市清武地域子育て支援センター、加納小学校、加納中学校、大久保小学校、清武中学校、清武小学校、適応指導教室(希望教室)、きよたけ児童クラブ(清武小学校・敷地外)、宮崎市清武学校給食センター		
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし		
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし		
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道269号線から南東へ1km程度の位置にあり、施設の近くにバス停留所が設置されているなど、交通事情は良好である。		
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(清武) 【現在の人口】28,683人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)		
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】4.5億円程度		
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価				令和3年度
台帳番号		8840	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名		宮崎市きよたけ児童文化センター	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし		
15	アンケート(施設利用者)	対象外		
16	総合評価(総括)	建物の評価、機能の評価ともに継続とする。今後は、令和3年3月に策定した「個別施設計画」に基づき、維持管理等を行いながら継続する。		
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続		
18	建物の評価の理由	基礎評価の評価値は平均点以上であり、修繕等必要な箇所については、「宮崎市きよたけ児童文化センター個別施設計画」に基づき、改修を実施する。		
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	施設の現状を常に把握し、計画的な保全に取り組むことで長寿命化を図る。		
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続		
21	機能の評価の理由	基礎評価の評価値は平均点以上であり、一日あたりの利用者は多く、ニーズがある。		
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み ※20が「廃止」以外るとき	指定管理料における人員等の見直し。		